

Local X FORUM

Vol.5

現地型オープンファクトリー



富川屋

里山



京屋染物店

現地型オープンファクトリー



FactorISM

農業 × 福祉



イシノマキ・ファーム

「地域の価値を活かした共創」が生む イノベーションの可能性

Featuring 東北オープンファクトリーフォーラム Vol.3

昨年度、近畿経済産業局を中心に、東北・関東・四国局が連携し、「共通目的」を持つコミュニティがイノベーションを起こす事例として、「地域一体型オープンファクトリー」に着目し、地域企業が群となって「オープンイノベーション 2.0」を体現する要件について調査・分析を行ってきました。そのうち、地域の特性・個性を活かした Social Good を生み出すコミュニティを「Local X Lab.」として位置付けています。

今年度においては、既存の業種や商習慣の枠組みにとらわれず、国内地域における「オープンイノベーション 2.0」を加速化させるため、どのような「要素」が「Local X」になりうるのか、各地の実例（ロールモデル）を発掘します。これらを通じて、VUCA 時代における国内の次代産業クラスター政策としての「Local X Lab.」の多様な可能性を明らかにすることを目的に、各地の様々なコミュニティで活躍するキーパーソンの方々による公開討論会を開催します。

会場

あえりあ遠野 2 階「さくら」

岩手県遠野市新町 1-10

主催

後援

事務局

経済産業省近畿経済産業局 / 東北経済産業局
遠野市
株式会社地域計画建築研究所
(アルバック)

開催日時

2023 12.9 SAT 13:00 - 15:30

参加無料

Next
TOHOKU
Meetup



13:00



文化とカルチャー。小盆地宇宙・遠野に戦慄せしめよ。

株式会社富川屋 代表 プロデューサー 富川 岳氏

広告会社を経て2016年に岩手県遠野市に移住。『遠野物語』の魅力に戦慄し、民俗学の視点からその土地の物語を編み直し、文化の魅力を発信するべく、出版や商品開発などの様々なプロデュースワークと創作活動を行う。同時に、自ら郷土芸能「しし踊り」の舞手としても活動中。地域が抱える人口減少という課題に対し、地元の企業や仕事について、求職者だけでなく近隣住民や次世代を担う子ども達にも公開する「遠野しごと展」をプロデュースした経験をもとに、地域を巻き込むコミュニティづくりについてご紹介いただきます。



～ソーシャルファームとまちづくり～多様性を認め合う社会へ

一般社団法人イシノマキ・ファーム 代表理事 高橋 由佳氏

宮城県仙台市出身。精神保健福祉士・職場適応援助者(ジョブコーチ)。日本ファンドレイジング協会准認定ファンドレイザー。LEGO SERIOUS PLAY 認定ファシリテーター。2011年、こころの病を持つ人たちの就労・就学支援を行うNPO法人Switchを設立。2016年には、「ソーシャルファーム」を理念とした就農支援の一般社団法人イシノマキ・ファームを設立し、農業を通して地域内外を繋ぎ、社会的に弱い人もそうでない人も対等に過ごせる場づくりを目指す。2022年7月には石巻初の醸造所「ISHINOMAKI HOP WORKS」にてクラフトビールの醸造販売を行っている。農業×福祉により地域のチカラを引き出す取組について、ご自身の経験を踏まえてご紹介いただきます。



里山から始めるオープンイノベーション

株式会社京屋染物店 専務取締役 蜂谷 淳平氏

岩手県一関市で創業100年以上続く老舗染物店において、伝統と現代の感性を融合させた新たな商品開発・取組に挑戦し続けている。2018年東北初のオープンファクトリー『五感市』の初代実行委員長や「いわて県南エリア伝統工芸協議会」副会長を務める。2022年には自然と共生する郷土文化の魅力を伝える「里山の縁日」プロジェクトを始動。共創の手段としてクラウドファンディングを用い、里山という「場」で染物を含めた岩手の文化や生活、工芸、食、郷土芸能を発信する取組についてご紹介いただきます。



こうばはまちのエンターテインメント FactorISM がつなぐ地域産業の絆

FactorISM実行委員会 統括プロデューサー / 株式会社友安製作所 ソーシャルデザイン部担当執行役員 松尾 泰貴氏

関西大学卒業後、大阪府八尾市に入所し中小企業の支援や産業政策等に従事。八尾市にて「みせるばやお」を立ち上げ、『地方公務員アワード 2019』を受賞。2021年に友安製作所へ入社後は、一社員としての活動を超えて、様々なまちづくり活動に参画。大阪府広域に広がるオープンファクトリー「FactorISM」や和歌山県専門家、大阪生野区、八尾市の公共事業のプロデュースを行うなど、様々なコミュニティを越境し、イノベーションを生み出すコミュニティづくりについてご紹介いただきます。

14:45

テーマ

- ① 上手くワークするコミュニティの要件・要素とは
- ② イノベーションを巻き起こすメカニズム など

座長 (ファシリテーター)



青森大学 社会学部 准教授 石井 重成 氏

経営コンサルティング会社を経て、東日本大震災を機に岩手県釜石市へ移住。多様な官民パートナーシップを手掛け、釜石市オープンシティ推進室長として、市の地方創生戦略を統括。2021年4月より青森大学に着任。(一社)地域・人材共創機構代表理事、総務省地域力創造アドバイザー、デジタル庁シェアリングエコノミー伝道師、環境省地域循環共生圏プラットフォーム事業アドバイザー、福島県奥会津地域共創フェロー等、各地で地域ハズオン支援や人材育成に取り組む。著書に『ローカルキャリア白書 - 未来の働き方はここにある』。

あえりあ遠野 2階「さくら」

岩手県遠野市新町 1-10

🚗 東北新幹線「新花巻駅」経由
JR釜石線「遠野駅」下車徒歩約8分

🚗 東北自動車道花巻J.C.Tより釜石自動車道へ
→釜石自動車道「遠野ICより」車で約5分



以下の情報を記載して、メールにてお申込みください。

記載事項 件名: 12/9 フォーラム申込
氏名、所属・役職、TEL、メールアドレス

Mail local.x.forum-5@arpak.co.jp
※右記 QR コードを読み込めばメールフォームが開きます▶
※先着順 ※定員 50 名程度



事業受託機関: 事務局
株式会社地域計画建築研究所 (略称: アルバック)
京都本社 (担当: 山部・倉見・山口)
京都市下京区四条通柳馬場西立売中之町 99 番地

TEL 075-221-5132
MAIL local.x.forum-5@arpak.co.jp

実施主体 経済産業省

近畿経済産業局 地域経済部 地域連携推進課 (担当: 津田・古木)
大阪府中央区大手前 1-5-44
TEL 06-6966-6013

東北経済産業局 総務企画部 企画調査課 (担当: 横田・野口)
仙台市青葉区本町 3 丁目 3-1
TEL 022-221-4874